

授業科目		病理学各論 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
			◎	1 年次前期	1	講義	30 時間
到達目標	1. 循環に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 2. 循環に関連する生体の診断を理解する。 3. 循環に関連する治療を理解する。 4. 呼吸に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 5. 呼吸に関連する生体の診断について理解する。 6. 呼吸に関連する治療について理解する。						講師
							循環器科医師 呼吸器科医師
授業計画							
1 回	循環に関連する症状と病態生理						循環器科医師 (16 時間)
2 回	循環に関連する検査と治療						
3 回	循環に関連する疾病 虚血性疾患						
4 回	循環に関連する疾病 心不全						
5 回	循環に関連する疾病 血圧異常 不整脈						
6 回	循環に関連する疾病 弁膜症 心膜症 心筋疾患						
7 回	循環に関連する疾病 肺性心 動脈系疾患						
8 回	循環に関連する疾病 静脈系疾患 リンパ系疾患						
9 回	呼吸に関連する症状と病態生理						
10 回	呼吸に関連する検査と治療						
11 回	呼吸に関連する疾病 感染症 間質性肺疾患						
12 回	呼吸に関連する疾病 気道疾患 肺循環疾患						
13 回	呼吸に関連する疾病 呼吸不全 呼吸調節に関する疾患						
14 回	呼吸に関連する疾病 肺腫瘍 肺・肺血管の形成異常						
15 回	呼吸に関連する疾病 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 肺移植 胸部外傷						
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験 (100%) 循環器科医師 (50%)、呼吸器科医師 (50%) を総合して評価する						
教科書	共通 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 循環器科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学③循環器 医学書院 呼吸器科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学②呼吸器 医学書院						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。						